

資料⑥

令和7年度渡津小学校学校評価 評価 5 そう思う
4 ↑
2 ↓
1 そう思わない

A:達成できた
B:改善を検討
C:早急に改善

学校教育目標 みんなが行きたいと思う渡津小学校をつくろう
渡津が大好き! やってみるわたし かかわるわたし 元気なわたし

| | | 評価計画 | | | | | アンケート | | | | 自己評価 | | 改善点 | 学校関係者評価 (学校評議員) | 評価結果 |
|---|----------|--------|-------------------------|--------------------------|------------------------------------|-----|--------------|--------------|--------------|----|-----------|--|--|--|------|
| | | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 達成のための方策 | 評価指標 | 目標値 | 職員 | 生児 児童 | 保護者 | 地域 | 評価 ABC | 結果と課題 | 来年度への取組 | コメント | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 確かな学力の向上 | 学ぶ力の育成 | 学習規律の定着 | 授業への姿勢 (時刻・準備物) | わたしは、学習の準備をしてチャイム着席ができるよう指導を続けた。 | 4 | 4.8 (4.9) | 4.3 (4) | / | / | A | 昨年度よりも肯定的評価が高く、全般的にできていた。 | ・引き続き指導を続けていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 様々な取組や行事等がある中で、保護者や地域の方々から求められることは年々増えていっているのではないかと思います。その中で個人的ではありますが”考える”ことです。今、何をすべきか?何が必要か?どんな声掛けがよいか?など……。こういったところが学力にも少なからず影響してくるのではないかと思います。 タブレットより、知識を深める手段を考えるとともに、歴史や文化を親と一緒に考えるテーマを見つけ、月1回発表してみるなど考えれば! 毎月の書き取り会・計算会の実施、再チャレンジ、それに伴う指導で基礎学力の向上に努めている。 家庭学習の充実、読書活動の充実、読書量等で、児童・保護者の評価が低い、各家庭のかかわり方で向上するとよいと思います。 朝読書や授業内での読書に没頭できる時間を努めて作ってほしいと思います。 | A |
| 2 | | | 基礎基本の定着 | 毎月の書き取り・計算会の実施 | わたしは、書き取り・計算会の実施、再チャレの取組を行った。 | 4 | 5.0 (4.9) | 4.5 (4.3) | 4.1 (3.8) | / | A | <ul style="list-style-type: none"> 学習の定着にはなっている。 再チャレンジを合格するまで続けるのは、職員、子どもたち両者にとっての負担も大きい。 | ・再チャレンジの変更 間違えた問題のみ実施など | | |
| 3 | | | 基礎基本の定着 | タブレット学習の取組 | わたしは、毎日タブレットを活用する時間を設定した。 | 4 | 4.7 (4.1) | 4.7 (4.5) | / | / | A | <ul style="list-style-type: none"> 授業での活用率が増えている。 (課題) タブレット学習以外の使い方のルール作りが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 低学年のタブレットに触れる時間を確保する。 必要に応じて電源を入れる。 アプリ等、不明な点について江津市全体で共有するためにも、教育委員会主導で相談窓口などを作ってもらいたい。 | | |
| 4 | | | 考えが深まる授業を目指して45分間の授業の充実 | 授業の中で「めあて」と「ふりかえり」を位置づける | わたしは、授業で「めあて」をたて、「ふりかえり」を行うよう指導した。 | 4 | 4.5 (4.1) | 4.2 (4.0) | / | / | A | <ul style="list-style-type: none"> 前年度より良い結果となった。「めあて」は授業の中でめざす項目であり、そのためにどんな学習をするのか、何をすればよいのかを明確にする大切なものである。 | ・今後も継続していく。 | | |
| 5 | | | 家庭学習の充実 | 主体的対話的な学びの充実 | わたしは、ペア学習やグループ学習での話し合い活動を設定した。 | 4 | 5.0 (4.0) | 4.7 (4.6) | / | / | A | <ul style="list-style-type: none"> 前年度より良い結果となった。主体的、対話的な学習を進める上でもペア学習やグループ学習は大切なものである。 | ・今後も継続して大切にしていく。 | | |
| 6 | | | 家庭学習習慣の定着 | 家庭学習の充実 | わたしは、決められた時間や内容を指導し、改善に努めた。 | 4 | 4.8 (3.9) | 3.9 (3.6) | 4 (4) | / | B | <ul style="list-style-type: none"> ICT活用での取り組みは充実してきたが、取り組み方に課題が見られる。 | ・紙媒体 (ドリル、ワーク、プリント等) の学習と併用するなど、来年度改善していく必要がある。 | | |
| 7 | | | 図書館活用教育 | 読書活動の充実 ・読書量と共に内容の充実 | わたしは、読書活動を推進し、調べ学習を教育活動に織り込んだ。 | 4 | 4.2 (4.1) | 3.0 (4.1) | 3.6 (3.1) | / | C | <ul style="list-style-type: none"> 授業内での図書館活用はできているが、静かに読書に没頭できる時間が減っている。 | ・読書時間をしっかりとるため、朝自習の使い方の内容など見直しの必要がある。 | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------|-----------------|-------------------|---|---|---|--------------|--------------|--------------|--------------|---|--|--|--|
| 8 | 豊かな心の育成 | 人を思いやる心と人権意識の醸成 | 自己有用感の育成 | 係活動・委員会活動・縦割り班活動の充実 | わたしは、それぞれの活動を通して自己有用感自己肯定感を育てる指導を進めた。 | 4 | 4.5 (4.4) | 4.0 (3.9) | / | / | A | ・各委員会の企画ものや縦割り班を活用した活動が増えたことで、前年度より良い結果となった。 | ・職員が意識をして児童に指導する等して児童が企画したり、縦割り班を活用したりする機会を増やせるよう、今後も継続していく。 | ・常に生きていくには、他人とかかわりがあるので、人の気持ちを考えて行ける子になってほしいです。挨拶も習慣になるよう、まずは知っている人だけでも元気にできれば良いですね。”先取り挨拶”が渡津小の色になれば嬉しいです。 ・地域で知っている人には、自分からあいさつをする。 ・自己有用感、自己肯定感を育むとともに、主に家庭の役割が大きいと思いますが、学校で先生、児童間のかかわりでも育まれると思います。先生が児童に向き合う姿勢、縦割り班の活動で自らも向き合えるようになると良いですね。 ・思いやり、あいさつ、返事、くつろえは家庭環境で育まれるものですが、大人社会に入った子どもたちに言って聞かせるだけでなく、見せていくことを意識せねばと思いました。 |
| 9 | | | 関わりを大切に する子の育成 | 友達や地域の方などとの 関わりの場の充実 | わたしは、縦割り班活動やふるさと教育などのふりかえりや反省・感想を通して、かかわることや協力することの良さに気づかせた。 | 4 | 4.5 (4.5) | 4.5 (4.6) | 4.4 (4.5) | / | A | ・掃除だけでなく、委員会の特別活動や行事にも縦割り班での活動を行うことができた。 ・他学年との関わりを深めることができた。 | ・今後も充実した活動になるようにしていく。 ・縦割り班活動でのふり返りの時間をより充実したものになるよう工夫する。 | |
| 10 | | | 三則の徹底 | あいさつ・返事・くつろえの習慣化 | わたしは、あいさつ・返事・くつろえについて指導を進めた。 | 4 | 4.3 (4.3) | 4.4 (4.3) | 3.2 (3.7) | 4.0 (4.1) | B | ・学校外を含めると、挨拶には課題がある。 | ・生活習慣を整えることでより朝のエネルギーをため、元気に挨拶できるようにする。 | |
| 11 | | | 人権・同和教育の充実 | 人権週間・人権の花・人権集会の取り組み 校内研修の充実 | わたしは、教育活動全体を通して人権・同和教育を進めることができた。 | 4 | 4.8 (4.4) | 4.7 (4.5) | 4.2 (4.5) | / | A | ・人権の花の活動が、子どもたちの中で意味ある活動につながっていない。取り組み方を考えていく必要がある。 ・人権集会では、劇の内容を縦割り班で話し合うことで「言葉について考えよう」というテーマについて一人ひとりが考えることができた。 | ・人権の花の活動について、よりよい活動になるように考えていく。(他校の取り組みを聞くなど) ・人権週間に限らず、思いやりのある関わりができるように引き続き指導・声掛けを行う。 | |
| 12 | | | いじめ・不登校への組織的対応 | 校内支援委員会の開催 | 学校は、必要に応じて、校内支援委員会を開き、対応策を検討することができた。 | 4 | 4.7 | / | / | / | A | ・適宜、校長を中心に支援委員会を開けた。 | ・より情報を共有したり、気になる情報を得たりするためにも、日頃の情報交換ができるように、時間の確保をする。 | |
| 13 | 健やかな体の育成 | 基本的生活習慣の育成 | 交通事故防止 | 交通安全教室、通学路の安全点検、下校指導 | わたしは、交通ルールなどについて指導を進め、改善に努めた。 | 4 | 4.8 (4.6) | 4.8 (4.8) | 3.9 (4.1) | 4.2 (4.5) | B | ・保護者や地域では昨年度より低くなっている。 | ・交通安全教室の開催を継続していくとともに、日頃の交通安全指導を繰り返し行う。 | ・保護者の横のつながりを増やし、各家庭での取組も大事だと思いました。 ・会話しながら登校する際、ルール無視をする姿が見られることから、継続するように！ ・交通事故防止・・・保護者、地域の評価が下がったことが心配です。自転車の乗り方等を含め、学期に1度程度、交通安全教室の開催をしていくとよいと思います。 ・早寝・早起き・朝ご飯・排便やメディア接触についても、家庭で指導することですが、体をつくる、心の安定、脳の仕組み等から学習としての取組(基礎知識として)バランスの取れた食生活が土台にある。 ・他の県で実施されている褒めて体力upを図る施策があればと思う。 ・休み時間の運動への働きかけを。朝マラソンとか・・・ |
| 14 | | | タイムコントロールへの取組 | 早寝、早起き、朝ご飯、排便の移動、啓発 テレビやインターネット、ゲームなどのメディア接触時間についての指導、啓発 | わたしは、タイムコントロール週間に合わせ、早寝、早起き、朝ご飯、排便について、また、ゲームやインターネットなどメディアの接触時間について指導を行った。 | 4 | 4.0 (4.5) | 4.3 (3.8) | 3.7 (2.9) | / | B | ・児童、保護者の結果は、昨年度より伸びているが、指導は不十分であった。 | ・マナー化が見られるので、取り組み方や内容を考え、児童が意識して取り組めるようにする。 | |
| 15 | | 健康増進 | 体力づくり | 体力調査をもとにした体育授業の改善 ファンラン、外遊びの充実 | わたしは、スポーツテストの結果から、渡津小の子どもたちの弱い点について体育の授業などで取り組んだ。 | 4 | 4.5 (3.9) | 4.5 (4.3) | 4.2 (4.1) | 4.0 (4.4) | A | ・課題であった握力への取り組みは不十分であった。 | ・遊具が新しくなり、児童も積極的に使用しているので、それらを活用した運動の機会を増やしていく。 ・保体委員会の特別活動を縦割り班活動に生かしていく。 | |
| 16 | | | | 縦割り班を生かした運動の機会 | 学校は、保体委員会を中心に、運動をする機会を設けた。 | 4 | 4.8 | / | / | / | A | ・ドッジボール大会やなわとび集会等、保体委員会を中心に取り組むことができた。 | ・保体委員会を中心に運動をする機会を設定する等、今後の継続していく。 | |

B

B

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--|---------------------------|-----------------|--|------------------------------------|---|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------------------|--|---|---|---|
| 17 | 学 信 校 頼 づ さ く れ り る | 学校と家庭・地 域・関係機関と の連携 | 安全・安心な環 境づくり | 施設整備の点検 安全教室、避難訓練の実 施 | 学校は、安全点検や防災 訓練を計画的に実施し た。 | 4 | 5.0 (4.9) | / | / | / | A | ・計画的に防災訓練を行っ た。また、定期的に安全点検 を行った。 | ・今後も計画的に防災訓練や安全点検を行 う。 | ・PTA行事等で、先生方と話す機会が 増えることは、とても良いことだと実 感しております。今後とも、よろしく お願いします。 ・地域の活動等に、広報活動を利用し て周知を図る。 ・地域は協力的にかかわられていると 思います。当たり前と思わず、感謝の 気持ちを心にもって、学校、保護者、 児童は学ばせていただけたら良いと思 います。 | A |
| 18 | | | 関係機関との連 携 | 地域の教育資源の活用 ・コミセン等との連携 ・ふるさと教育の充実 | わたしは、地域教材を活 用して教育を実施してい る。 | 4 | 4.2 (4.4) | 4.1 (3.6) | 4.3 (4.3) | 4.0 (4.1) | A | ・地域の良さを学ぶことがで きるよう積極的にかけるこ とができた。 | ・協力的な地域に遠慮をせず に協力をお願いしたい。 | | |
| 19 | | | 家庭との連携 | 各家庭との連携 学級PTA活動の実施 | 学校は、家庭との連携に 努めている。 | 4 | 5.0 (4.7) | / | 4.6 (4.5) | 4.6 (4.6) | A | ・必要に応じて、電話や連絡 帳、teotoru等を利用して連 携を取った。 | ・今後も継続していく。 | | |
| 20 | | | 保・中との連携 | 保小、小小、小中での情 報交換・交流の場の設定 | 学校は、保小、小小、小 中での情報交換・交流を 進めた。 | 4 | 4.7 (4.6) | / | / | / | A | ・渡津保育所との交流の機会 を多く作ることができた。 | ・保小交流については、架け橋期のカリ キュラムをもとにより充実した活動になる ようにしていく。 | | |
| 25 | 渡津小の合い言葉 | | | 学校は楽しいですか | 4 | / | 4.4 (4.3) | 4.5 (4.2) | / | A | ・おおね「楽しい」と答え ている児童が多かった。 | ・「楽しくない」「あまり楽しくない」と 答えている児童もいるため引き続き、魅力 ある学校づくりに努めていく。 | ・楽しくないと答えた子も次の日には 楽しいと言ったり、子どもたちの気持 ちは変わりやすいものですが、子ども 同士で助け合えば、魅力ある学校に なっていくと思います。 ・楽しいと思わない子どもが何が原因 か把握する必要がある。 ・楽しいことも、楽しくないこともある が、日常、そんな中でもがんばれる 心のあり様も家庭にあると思います。 | A | |